

機械システム工学科のカリキュラム

機械工学は、システム工学、計測・制御工学、情報工学等と融合し、機械システム工学として拡大・発展し、急激な技術革新を支えています。

本学科は、この現状に柔軟に対応できるように、機械工学科が再編・拡充されたもので、設計システムとエネルギーシステムの2つの分野の教育・研究を行う講座で構成されています。すなわち、材料力学、機械力学、熱力学、流体力学のいわゆる4大力学を中心とした機械工学の基礎とともに、設計システム、エネルギーシステムに関する幅広い専門科目を教授します。

同時に、新素材・情報工学に関する教科も多数用意され機械の研究開発、設計製作、性能向上等に取り組む能力の養成を目指したカリキュラムが組まれています。

